

第 79 回人材活性化委員会、第 136 回教育研究会

「わが社はこうして高齢者の職場を創った」～タニタの事例と見学～

7月25日(水)、人材活性化委員会と教育研究会の合同にて、(株)タニタ総合研究所に於ける高齢者雇用施策の企業事例紹介と見学を実施した。

「体脂肪計タニタの社員食堂」のレシピ本で有名なタニタは、マネジメントの面で後進に負担が生じないう、本社での先輩と後輩のしがらみを断ち、組織の若返りと高齢者にいきいきと働いてもらうことを狙いとして、新たにシニア会社のタニタ総合研究所を設立。60歳までに培った経験・知識を活かし、後進の若手に効果的なアドバイス等、コンサルタント的な役割を高齢者に果たしてもらうことに期待を込めて社名を命名した。

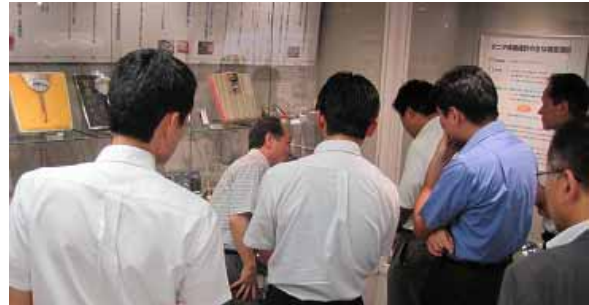


事例紹介をいただくタニタ総研の今社長

再雇用には、定年の60歳の1年前に会社と本人が面接し、60歳で退職かタニタ総研に移籍か希望をヒアリングする。再雇用の条件は働く意欲がある、

健康状態に問題がない、勤務評価と出勤率に問題がないこと。1年契約の契約社員、あるいは希望者にはパート契約を結び65歳まで働くことができる。我が社の使命は、60歳以降の雇用に加え、これまでなかった定年の境目を作ることで、定年後に心機一転を図ってもらうところにある。

上記事例紹介のほか、タニタ健康プロジェクトのご紹介と博物館やオフィスの見学をさせていただいた後、質疑応答を行い終了した。



タニタ博物館を見学する参加者